

「東アジア文化都市 2023 静岡県 事業報告書」の訂正について

「東アジア文化都市 2023 静岡県 事業報告書」について、御協力いただいた大学・団体名及び活動内容の記載が漏れておりましたので、お詫びするとともに、以下のとおり訂正いたします。

【訂正箇所】

報告書 P 57

【訂正内容】

東アジア文化都市学生フォーラム

「学生が考える東アジア地域の文化と文化交流」をテーマに、日本・韓国・中国の学生交流を通じて三国間の理解促進を図るとともに、新たな大学・学生間の交流を創出することを目的とし、成都市・梅州市(中国)、全州市(韓国)から大学生を招へいし、県内の日本人学生や留学生を交えたフォーラムを開催しました。フォーラムには、静岡県立大学、静岡大学、常葉大学、日本大学などから多くの学生が参加し、お互いの国の文化の紹介とその特性に関するワークショップ、博物館・図書館の役割をめぐるディスカッション、静岡市内や富士山五合目、富士山世界遺産センターでのフィールドワークなどを通じて交流を深めました。特に、ワークショップは静岡県立大学ファシリテーション同好会のメンバー8名が企画・運営し、学生間の国際交流に貢献しました(同大現代韓国朝鮮研究センターが立案協力)。また、韓国語・中国語の通訳は、同大国際関係学部・大学院国際関係学研究科10名をはじめ常葉大学、日本大学、(静岡県内在住の)名古屋大学の学生計14名が担当し、大学で学んだ言語能力を発揮しました。学生にとって、静岡県の歴史、文化、食など地域の多彩な魅力に触れる機会になりました。

【主催】

静岡県大学課(協力:地域外交課、静岡県立大学)

【開催日】

2023年10月6日(金)
~10月10日(火)

【会場】

グランシップ、静岡市、富士宮市等

【参加者数】

延べ87人

中国:4人(成都市:2人、梅州市:2人)、韓国(全州市):4人、日本:各日30人程度(企画・運営、通訳、運営協力、一般公募)

